

回覧

茂原市リサイクル推進委員会会報

会長あいさつ

日頃より本委員会の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会は書面で行い、学習会は対象を理事と役員のみ制限して開催する等の規模を縮小しての活動となりました。

また、今年度もリサイクルの推進及びゴミ集積所の不適正排出防止を目的とした啓発用チラシを作成しました。今回も役員を中心に、茂原市自治会長連合会と長生郡市広域市町村圏組合に協力をいただき、書面での校正を行いながら作成しました。完成品は、令和4年3月の自治会を対象とした文書配布で全世帯に配布を行いました。

今後の活動について、新しい生活様式のなかで、廃棄物の減量や3Rの推進に努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願いたします。

茂原市リサイクル推進委員会
会長 露崎 皓久

令和3年度功労者表彰

令和3年7月16日に飯尾経済環境部長が市長賞の高橋廣史様宅を訪問し、表彰状を授与しました。令和3年度功労者表彰受賞者は以下のとおりです。

◎市長賞

(個人) 高橋 廣史 様 (茂原西部地区)

◎市議会議長賞

- (団体)・茂原市心身障害者福祉作業所
あゆみの家 様 (東郷地区)
- ・グリーンサンド 様 (五郷地区)

◎教育長賞

- (団体)
- ・茂原市立南中学校 PTA 様 (鶴枝地区)
- ・茂原市立富士見中学校生徒会 様 (二宮地区)
- ・茂原市立東郷小学校児童会 様 (東郷地区)
- ・茂原市立緑ヶ丘小学校 PTA 三輪会 様 (二宮地区)
- ・茂原北陵高等学校 様 (新治地区)

◎リサイクル推進委員長賞

- (個人)・河合 信夫 様 (二宮地区)
- (団体)・八千代2丁目自治会 様 (茂原東部地区)
- ・早野向宿自治会 様 (五郷地区)
- ・高師国野自治会 様 (茂原中央地区)
- ・道表自治会 様 (茂原西部地区)
- ・第34区南吉田自治会 様 (豊岡地区)
- ・木原 守行 様 (新治地区)
- ・豊岡親友自治会 様 (豊岡地区)
- ・内長谷向原自治会 様 (茂原西部地区)
- ・第17区下太田自治会 様 (新治地区)
- ・長谷市営住宅自治会 様 (茂原西部地区)



※写真は左から露崎会長、高橋様、飯尾経済環境部長



今回のウェブ開催では、約三千件の閲覧があり、プレゼント商品は200件の申し込みがありましたので、多くの方に当委員会の活動を知っていただけたと思います。今後も、様々な活動を通して、当委員会の周知を図っていきたいと考えております。

④ プレゼント商品の説明

金)についての説明

- ① 当委員会の活動内容の紹介
- ② 令和2年度作成の啓発用チラシ (ごみ出しのポイント) の紹介
- ③ 市環境保全課で販売している生ゴミ堆肥化容器(コンポスター、EM容器、生ゴミ処理機の補助金)についての説明

今年度のウェブ開催では、令和3年11月25日から12月10日の期間に、3年ぶりとなる産業まつりがウェブで開催されました。例年、当委員会は、レジ袋やエコバック等の利用状況のアンケート調査を実施するとともに、エコバック等の配布を行い、ゴミ減量に関する啓発活動をおこなってまいりました。

産業まつり

活動報告（学習会）

令和3年11月19日（金）に昨年度と同様に感染症対策として、理事と役員のみを対象に市民室で開催し、22名が参加しました。

「レジ袋の削減やエコバックから考える環境問題」をテーマに、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会理事で地球温暖化防止活動推進委員の佐藤ミヤ子様にご講演をいただきました。

初めに、レジ袋に関する説明があり、千葉県民が年間1人300枚レジ袋を消費した場合、約3万klの石油が必要で、これは小学校のプール約80杯分であることや、レジ袋1枚（LL版10g）をそのままゴミとして排出した場合でも、千葉県内で年間1万7100トンにもなり、それを焼却した場合は、5万3000トンのCO₂が排出されるとのことでした。プラスチックを焼却することは石油を燃やしていることと同じで、二酸化炭素が増加し、地球温暖化の加速に繋がります。

次に、近年問題になっている海洋ゴミについて説明がありました。これは、街中に捨てられたゴミが河川等を通じて海に流れていくもので、その中には、レジ袋やプラスチック製品が多く見られ、一度海に流れたものは、半永久的に残ります。中でも印象に残ったのは、ウミガメの鼻の穴にストローが刺さっており、それを人がペンチで取っている画像でした。現在、世界中の海洋生物がマイクロプラスチック（5mm以下の些細なプラスチック）の脅威にさらされており、一度生物の体内に入ってしまうと、取り除くことは困難なため、生態系にも大きな影響を及ぼすおそれがあります。さらに、海洋ゴミが2050年までには世界中の魚の重量を超える予想も出ているそうです。

今後のゴミ問題について、環境に配慮した製品を作る企業努力も今まで以上に必要だと思いますが、ゴミの排出者である我々一人ひとりが、意識して生活をしていく必要があると再認識しました。



活動報告（鶴枝地区）

鶴枝地区リサイクル推進委員会の活動を紹介します。

近年は、水害や新型コロナウイルス感染症の発生により、日常生活に大きな影響が出ており、地区の会議や学習会等が中止になる等、活動が縮小しております。そのような中、コロナ禍でも、ゴミ集積所の巡回は感染症対策をしたうえで継続しています。その理由として、外出自粛により、自宅で過ごす人が多くなったことにより、家庭からのゴミの排出量が増加傾向にあることや、人の目が届かない集積所は散らかりやすい傾向にあるためです。継続的に巡回することにより、不適正排出が減るなどの効果が出ています。

今後も集積所の巡回を継続し、自治会と市環境保全課と連携を図りながら、ごみ集積所の管理に努め、清潔な環境と豊かな街になるように取り組んでいきたいと考えております。

次に鶴枝地区の集積所を2ヶ所ご紹介します。

集積所の環境美化を守るため、人目につく、明るく見やすい場所に作りました。



ゴミやリサイクル方法について、困った時は各リサイクル推進委員や自治会に気軽に相談してください。